

目次

編者まえがき 3

講義Ⅰ 禅・ブツダの体験

1 禅とは何か——ブツダの悟り体験と覚者^{ブツダ}への道 11

2-1 ブツダの体験——答えは、問いと一体となるとき訪れる 20

2-2 一体の成就——問いも問う人もなく、しかも同時に問いと問う人である 23

3-1 ブツダの純粹体験と梵天^{ブラフマ}の助言 28

3-2 禅から見たブツダの悟り体験の表現 31

講義Ⅱ 禅匠たちは存在と意識との諸問題にいかに向つたか

1 自我の重圧と本来の自己 41

2-1 哲学は知識でなく哲学する存在に始まる 51

2-2 禅の方法論を示す禅問答の例 54

3 禅の特徴を示す禅問答の紹介と分析 58

講義Ⅲ 体験としての般若の直観

1 禅の直観——実在を全体として、また日常生活を一体として把握 69

2 禅宗史上の逸話 79

講義Ⅳ 悟り体験

1 無念——ゼロ意識 91

2 涅槃ニルヴァーナ——絶対現在 100

3-1 絶対現在——ゼロ意識 109

3-2 エックハルトの「ナウ・モメント」 111

4-1 エックハルト(続き) 118

4-2 絶対現在の実現 121

5-1 悟り体験の究明 126

5-2 「即今」ジャスト・ナウ 130

講義Ⅴ 『大乘起信論』の基本思想と禅思想

1 本覚と無明 143

2 心の真如・体とその相・用——エックハルトと禪師たちの場合 154

3-1 対象世界として顕現する一心の四相、生住異滅 167

3-2 覚りの四段階 170

4 無念と覚り 177

5 覚りにおける分別の超克 186

6 本覚と無明とは即今同時 197

講義VI 禅における本願——衆生心が一切衆生心に目覚める

1 覚り体験の特徴。対象に対するという思いがない、絶望がない、足跡を残さない、境界がない 227

2 プラニダーナ、本願、は禅の宗教 237

3 禅のプラニダーナ、本願 249

4 プラニダーナ、本願の詳述——四弘誓願とサマンタパドラの十願 260

5 プラニダーナ、本願を可能にするものは人間の状況 269

6 我々はすべてボーデイサットヴァ、菩薩 281

7 禅は我々に個別の心から存在全体としての心、一切衆生心に進んでもらいたいと願う 293

編者あとがき 321